

## 事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	安全会議事業	コード	93106
-------	--------	-----	-------

2 担当部課	部等 市民環境部	課等 市民生活課	作成者 吉沢 透
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政 策	安全・安心な暮らしの確保	施 策	生活安全対策の推進
		予算科目	安全会議費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

## 4 事業の概要等 \*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要 (簡潔に)	交通安全部会、産業安全部会、消防部会、防犯部会、環境保健部会、学校安全部会で構成し、各種の安全運動、啓発活動を展開するとともに、事業に対する支援を行う。		
目的	対象者	市内の住民及び滞在者等	
	意 図	市民の安全意識の高揚を図るとともに、各種の災害発生を防止し、市民の安全と安心な暮らしを確保する。	

## 5 事業の実施内容 \*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

安全意識の高揚を図るため、交通安全、産業安全、消防、防犯、環境保健、学校安全の部会ごと活動するとともに、関係機関や団体が連携し啓発事業等を実施した。

- ・会議関係
  - 幹事会 : 6月12日（水） 市役所会議室
  - 理事会及び総会 : 6月19日（水） 市役所9階大会議室
- ・岡谷市安全市民大会 : 8月4日（日） カノラホール

前年度の課題への対応	安全市民大会を開催し安全意識の高揚を図っているところである。
------------	--------------------------------

## 6 指標の達成状況 \*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 活動指標（指標名）	会議・大会等の回数			単位 回
実績値	4	4	4	
* 指標の説明	年間開催数の合計			
② 成果指標（指標名）	会議・大会等の出席者			単位 人
目標値	650	650	650	500
実績値	650	450	430	
達成度	100.0%	69.2%	66.2%	
* 指標の説明	総会等会議・大会等の出席者数の合計			
* 目標値の設定方法の説明	過去3年間の平均値			

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	3,309,547	2,824,425	2,676,245	2,804,000
経常経費	3,309,547	2,824,425	2,676,245	2,804,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明	-			

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	1,360,000	1,360,000	1,360,000	1,360,000
正規職員の人数(人)	0.17	0.17	0.17	0.17
③ 合計コスト(①+②)	4,669,547	4,184,425	4,036,245	4,164,000
前年度比		89.6%	96.5%	103.2%
財源内訳				
一般財源	4,669,547	4,184,425	4,036,245	4,164,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明	-			
④ 活動一単位あたりコスト	1,167,387	1,046,106	1,009,061	
前年度比		89.6%	96.5%	
⑤ コストに関する補足説明	-			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
安全会議補助金	件数	7	7	7	7
	金額	2,256,000	2,286,000	2,286,000	2,286,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	2,256,000	2,286,000	2,286,000	2,286,000
	割合	68.17%	80.94%	85.42%	81.53%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 95.6%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 66.2%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 市全体の安全運動を総合的に推進していく会議であるが、会としての動きが見えない部分がある。	
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 幹事会及び理事会において、会の在り方や内容について検討を行う。	
改 善 方 法	改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---